

令和7年度（2025年度）後期

授業公開講座 受講生募集

募集期間

2025.7.1(tue) ~ 7.31(thu)

募集要項

【募集期間】 2025年7月1日（火）～7月31日（木）

※インターネットよりお申込みの場合 : 7月31日 13時締切

※郵送または持参にてお申込みの場合 : 7月31日 13時必着

講座毎に受講要件が異なりますので、講座概要（8ページ～）を必ずお読みいただき、お申込みください。

受講資格

満18歳以上の方（2025年4月1日時点）

開講講座・日時

「講座一覧」（6ページ～）を参照してください。令和7年度（2025年度）後期は2026年2月2日（月）まで授業が行われます。（最終授業日は、各講座の曜日で異なります。）カリキュラムの都合上、曜日・時限・教室が変更になる場合があります。講座の内容についてのお問い合わせはお受けしておりませんので、このパンフレットにてご確認をお願いします。

募集定員

講座毎に定員がありますので、「講座一覧」（6ページ～）をご確認ください。

申込方法

申込方法について（4ページ）をご確認ください。

受講者選考

「抽選」による場合と「理由書」による場合があります。「講座一覧」（6ページ～）および「講座概要」（8ページ～）に選考方法が記載してありますので、ご確認の上お申込みください。

「抽選」の講座については、応募者多数の場合は厳正なる抽選により受講者を決定いたします。「理由書」の場合は、担当教員が理由書に基づき選考を行います。

なお、選考方法が「理由書」の講座を希望し、インターネットよりお申込みの場合は、お申込み後にお送りする受付完了メールを確認していただき、「理由書」を添付して返信してください。（Word、Excel等様式は問いませんが、氏名・講座名を必ず明記してください）「理由書」の提出をもって、正式な受付完了扱いとなりますので、ご注意ください。郵送または持参にてお申込みの場合は、パンフレット添付の申込書（15ページ）に記入してください。枠内に入りきらない場合は、別紙（様式任意）に記入し、申込書に添付してください。

結果の通知

9月上旬頃、申込者全員に選考結果を郵送によりお知らせします。

受講料（1 講座につき）

	週 1 回	週 2 回
後期	5,000 円	10,000 円

本学にて開催する受講手続・説明会にご参加いただき、現金で受講料をお支払いいただきます（下記参照）。お支払いいただいた受講料は返金できませんので、ご了承ください。（本学都合の場合は除く）

また、受講料の領収書の宛名は申込者ご本人となります。

受講手続・説明会

・9月18日（木）① 10：30 ② 14：30

・9月19日（金）① 10：30 ② 14：30

上記のいずれかの日程に必ずご参加ください。

受講に係る注意点などの説明のあと、受講料をお支払いいただき、受講票等をお渡しいたします。

受講にあたっての注意事項

1. 講座について

- ・公開講座は、本来学生のための授業です。受講者に合わせた内容ではありません。
- ・講座での教員への質疑応答は、学生を優先します。
- ・講座中は教員の指示に従ってください。
- ・講座時間外での質問等には応じられません。
- ・受講者への「学力評価（試験）」及び「単位の認定」は行いません。

2. 受講について

- ・お申し込みいただいたご本人以外の方の受講はできません。
- ・同伴や見学は、お断りします。
- ・大学敷地内は禁煙です。
- ・貴重品は必ず手元におき、盗難や紛失にはご注意ください。本学では責任は一切負いかねます。

※ご注意 【オンラインツールの利用について】

授業公開講座は対面の講座ではありますが、お申し込みいただく講座によっては、ご自身のパソコンやスマートフォンを使い、オンラインツールを利用して受講いただく場合があります。講座概要（8ページ〜）に利用するオンラインツールを記載していますので、ご自身で基本的な操作ができることをご確認の上、お申込みください。なお、受講中の操作方法についてのサポート対応、機器の貸出はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

〔利用予定のオンラインツール例〕

Eメール：ご自身が普段使用しておられるEメールアドレスを利用し、講師と直接やり取りしていただきます。

Microsoft Teams：本学が発行するMicrosoftアカウントで、動画視聴・資料閲覧、課題提出等を行うことができるアプリです。二要素認証を行うため、電話番号が必要です。

利用できる端末は、Windows8.1以降、OS X 10.11以降となりますので、ご自身でお使いの端末をご確認ください。

3. 欠席について

授業を欠席する場合、教員及び地域・研究連携センターへの連絡は不要です。

4. 休講・補講について

自然災害や教員のやむを得ない事情により、講座の休講、補講を行う場合があります。

休講、補講、教室変更については、Webサイト「地域ラブラトリー」→MENU→講座・学び→定期講座のページでお知らせいたします。原則、個別に連絡はしませんので、講座の前には必ず確認して来学してください。

なお、緊急の場合はできる限り電話等によりお知らせいたしますが、ご連絡できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

5. テキスト代等その他の費用について

受講者が講座で使用するテキストの代金及び講座に係るその他の費用は、受講者負担となります。

6. 講座の中止について

学生の受講が少ないなどの理由により受講決定後に開講中止となる場合があります。

その場合は、お支払いいただいた受講料は返金いたします。

7. 受講の停止について

受講者による本学内での迷惑行為（妨害、大声、付きまとい、暴力など）が生じ、講座運営に支障をきたす等、大学の秩序を乱したと本学が判断した場合は、講座開始後であってもすべての授業公開講座の受講を停止させていただきます。なお、この場合、お支払いいただいた受講料は返金できません。またその後、本学の講座は受講できなくなります。

8. 損害賠償について

本学の施設、設備等を破損したときは、速やかに届け出てください。その損害を弁償していただくことがあります。

9. 個人情報について

お申し込みの際にご提供いただいた個人情報の取扱いについては、個人情報の保護に関する法律に基づいて適正に管理を行います。また、個人情報保護の観点から、他の受講者、教員、本学学生に関する連絡先等をお知らせできません。

10. 通学方法について

本学では、自家用車での入構規制を行っております。可能な限り公共交通機関をご利用ください。ただし、特段の理由によって自家用車を利用しなければならない方や、片道5km以上の場合は、駐車許可をしています。駐車には必ず「許可証」が必要ですので、受講手続きの際に申請してください。

11. 学内施設の利用について

受講者は、図書館及び売店や食堂をご利用いただけます。図書館をご利用の際は「受講票」が必要となります。

申込方法

募集期間内にインターネットもしくは郵送・持参にてお申込みください。

インターネットよりお申込みの場合

※令和 7 年（2025 年）7 月 31 日（木）13 時締切

- 申込方法**：Web サイト「地域ラブラトリー」の募集ページに掲載しているお申込みフォームより必要事項をご入力の上、お申込みください。

Web サイト「地域ラブラトリー」→ MENU → お知らせ
→ 授業公開講座受講生募集ページ

<https://puk-loveratory.com/news/23069/>



- 申込確認**：お申込み後、地域・研究連携センター（renkei-tel@pu-kumamoto.ac.jp）から E メールを返信します。
お申込みから 1 週間を過ぎても E メールが届かない場合は、お申込みが正常に受付されていない可能性がありますので、下記問い合わせ先までご連絡ください。

郵送または持参にてお申込みの場合

※令和 7 年（2025 年）7 月 31 日（木）13 時必着

- 申込方法**：パンフレット添付の申込書（15 ページ）に必要事項をご記入の上、下記住所に郵送またはご持参ください。受講申込み 1 講座につき申込書 1 枚となります。
複数講座をお申込みの場合は、添付の申込書をコピー、もしくは Web サイト「地域ラブラトリー」の募集ページから申込書をダウンロードしてお使いください。



〒 862-8502（専用郵便番号のため、住所記載不要）

熊本市東区月出 3-1-100

熊本県立大学 地域・研究連携センター「授業公開講座」担当 行

- 申込確認**：郵送の場合は郵便到着後、受付確認のメールまたはお電話をいたします。

お問い合わせ先

熊本県立大学 地域・研究連携センター

（学内図 15 番 グローカル棟 1 階）

TEL：096-321-6612

E-mail：renkei-tel@pu-kumamoto.ac.jp

受付時間

平日（月～金） 9：00～12：20

土日祝を除く 13：20～16：00

令和7年度授業公開講座時間割

※時間割の変更がある場合があるので、Web「地域ラブラトリー」→MENU→「講座・学び」より確認してください

曜日	月				火				水				木				金			
	番号	講座名	教員	教室	番号	講座名	教員	教室	番号	講座名	教員	教室	番号	講座名	教員	教室	番号	講座名	教員	教室
1 時限 (8 : 40 ～ 10 : 10)					3	英語学概論Ⅱ	村尾 治彦	6 番	9	中国語基礎-b【週2回】	岡村 真寿美	14 番	9	中国語基礎-b【週2回】	岡村 真寿美	14 番	9	中国語基礎-b【週2回】	岡村 真寿美	14 番
2 時限 (10 : 20 ～ 11 : 50)	10	日本語史Ⅱ	米谷 隆史	中 2	2	英語Ⅱ (f)	川浪 一也	2 番	27	アジア地域論	高壘 健	中 3	19	地域景観計画学	柴田 祐	中ホール	7	中国語発展Ⅱ a	山田 俊	小 3
3 時限 (12 : 50 ～ 14 : 20)	16	人間と芸術	永田 郁	中 1	29	アルゴリズム論	金井 貴	中 3	4	English for Global BusinessⅣ	岡崎 紀久子	小 3	6	英語Ⅵ (d)	李 世恩	大演		中国語発展Ⅱ b	岡村 真寿美	14 番
4 時限 (14 : 30 ～ 16 : 00)	12	近代文学史	五島 慶一	1 番					5	Junior Seminar B-Ⅱ	荻嶋 崇	グ111					15	日本文化論Ⅱ	羽島 隆英	1 番
	18	家庭機械・電気	齊藤 弘順	11 番					11	現代日本語の分析	小川 晋史	小ホール	20	環境設備学	栗原 広佑	1 番	23	憲法Ⅱ	佐藤 雄一郎	小 2
									26	地域づくりと協働	澤田 道夫	大ホール								
5 時限 (16 : 10 ～ 17 : 40)	1	英語Ⅱ (j)	川浪 一也	7 番					13	地域文献講読Ⅱ	鈴木 元	1 番	14	英米文学多読入門	吉田 希依	グ111				

(注) 番号は講座一覧講座番号です

令和7年度 授業公開講座一覧（後期）

番 号	講 座 名	講 師 名	開始日/時 限	募集人数	選考方法	受講料 (円)
英 語						
1	英語Ⅱ（j）	川 浪 一 也	9月29日(月)/5時限	若干名	理由書	5,000
2	英語Ⅱ（f）	川 浪 一 也	9月30日(火)/2時限	若干名	理由書	5,000
3	英語学概論Ⅱ	村 尾 治 彦	10月1日(水)/1時限	若干名	理由書	5,000
4	English for Global BusinessⅣ	岡 崎 紀 久 子	10月1日(水)/3時限	若干名	理由書	5,000
5	Junior Seminar B－Ⅱ	萱 嶋 崇	10月1日(水)/4時限	3名まで	抽選	5,000
6	英語Ⅵ（d）	李 世 恩	10月2日(木)/3時限	若干名	理由書	5,000
中国語						
7	中国語発展Ⅱ a	山 田 俊	9月26日(金)/2時限	5名まで	理由書	5,000
8	中国語発展Ⅱ b	岡 村 真 寿 美	9月26日(金)/2時限	5名程度	理由書	5,000
9	中国語基礎－b【週2回】	岡 村 真 寿 美	9月26日(金)/1時限 10月2日(木)/1時限	5名程度	理由書	10,000
日本語						
10	日本語史Ⅱ	米 谷 隆 史	9月29日(月)/2時限	若干名	理由書	5,000
11	現代日本語の分析	小 川 晋 史	10月1日(水)/4時限	若干名	理由書	5,000
文 学						
12	近代文学史	五 島 慶 一	9月29日(月)/4時限	若干名	理由書	5,000
13	地域文献講読Ⅱ	鈴 木 元	10月1日(水)/5時限	若干名	理由書	5,000
14	英米文学多読入門	吉 田 希 依	10月2日(木)/5時限	若干名	理由書	5,000
歴史・文化						
15	日本文化論Ⅱ	羽 鳥 隆 英	9月26日(金)/4時限	若干名	理由書	5,000
16	人間と芸術	永 田 郁	9月29日(月)/3時限	10名まで	抽選	5,000

番 号	講 座 名	講 師 名	開始日/時 限	募集人数	選考方法	受講料 (円)
環 境						
17	建築環境工学Ⅱ	辻 原 万 規 彦	9月26日(金)/1時限	数名程度	理由書	5,000
18	家庭機械・電気	齊 藤 弘 順	9月29日(月)/4時限	10名まで	理由書	5,000
19	地域景観計画学	柴 田 祐	10月2日(木)/2時限	若干名	理由書	5,000
20	環境設備学	栗 原 広 佑	10月2日(木)/3時限	若干名	理由書	5,000
建 築						
21	比較住文化論	高 橋 浩 伸	10月2日(木)/2時限	若干名	理由書	5,000
22	建築構造の基礎	李 麗	10月2日(木)/2時限	若干名	理由書	5,000
公 共						
23	憲法Ⅱ	佐 藤 雄 一 郎	9月26日(金)/4時限	10名程度	理由書	5,000
24	現代社会と企業	池 内 秀 己	10月1日(水)/3時限	若干名	理由書	5,000
25	生命倫理と法	江 崎 一 朗	10月1日(水)/3時限	10名程度	理由書	5,000
26	地域づくりと協働	澤 田 道 夫	10月1日(水)/4時限	10名	抽選	5,000
国 際						
27	アジア地域論	高 埜 健	10月1日(水)/2時限	若干名	理由書	5,000
経済・情報						
28	原価計算論	望 月 信 幸	9月26日(金)/2時限	若干名	理由書	5,000
29	アルゴリズム論	金 井 貴	9月30日(火)/3時限	若干名	抽選	5,000

1	英語Ⅱ（j）	月曜
2	英語Ⅱ（f）	火曜
【講師】 川浪 一也		
（j）9月29日～・毎週月曜日 5時限目（16：10～17：40）		
【日時】 （f）9月30日～・毎週火曜日 2時限目（10：20～11：50）		
【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円		
【講義内容】 中級		
高校卒業レベル中級程度（英検準2級）		
【テキストについて】		
『Listen up talk back book 2』（James Bean・鎌倉義士、成美堂/2,300円＋税） あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。		
【オンラインツールについて】		
講師とEメールでやりとりすることがあります。		
【選考方法】		
受講希望の理由書（200字程度）により決定		
【注意事項】		
（j）と（f）は同じ講義内容となりますので、どちらか1講座をお申込みください。		

4	English for Global Business IV
【講師】 岡崎 紀久子	
【日時】 10月1日～・毎週水曜日 3時限目（12：50～14：20）	
【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円	
【講義内容】	
TOEIC Listening & Reading Testのテスト形式に倣った演習問題を解くことによって、ビジネス社会における英語を用いたコミュニケーションの基礎となる語彙・文法力を培います。また、ビジネスの現場で必要とされる情報収集力の育成に役立つ解法のストラテジーについても学びます。TOEIC700程度を達成目標としますので、 <u>英検2級程度の英語力が必要です</u> 。	
【テキストについて】	
『Key Strategies for Success on the TOEIC® L&R Test: Level 600[Second Edition]』（西谷敦子ほか（著）、朝日出版社/1,900円＋税） あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。	
【選考方法】	
受講希望の理由書（100文字程度）により決定	

3	英語学概論Ⅱ
【講師】 村尾 治彦	
【日時】 10月1日～・毎週水曜日 1時限目（8：40～10：10）	
【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円	
【講義内容】 専門	
英語表現の意味もしくはその使用的側面に焦点をあて、認知と言語の関係を考えながら、様々な現象の背後に潜む規則性を考察していきます。認知意味論では特定の表現形式と英語母語話者の認知の仕方の関係や、日本語らしい表現、英語らしい表現を考察します。さらに言語使用の側面において、会話の含意や原則などを扱います。	
【選考方法】	
受講希望の理由書（100文字程度）により決定	

5	Junior Seminar B-Ⅱ
【講師】 萱嶋 崇	
【日時】 10月1日～・毎週水曜日 4時限目（14：30～16：00）	
【募集人数】 3名まで 【受講料】 5,000円	
【講義内容】 専門	
この授業では生成文法の枠組みのもと、英語の様々な構文を考察する。生成文法は絶えず理論が発展しており難解なイメージを持たれがちだが、ここではあまり理論に深入りせずに様々な「英文法のふしぎ」を考えていく。高校英語では触れられない英文法の知識を得たり、当たり前のルールとして教えられた英文法の背景にある原理、原則を発見することができる。	
【テキストについて】	
『英語の主要構文』（中村捷、金子義明[編]、研究社/2,800円＋税） あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。	
【選考方法】	
抽選により決定	

6 英語 VI (d)

【講 師】	李 世恩
【日 時】	10月2日～・毎週木曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000 円
【講義内容】	中級 / 一般教養

この授業は、リーディングスキルを向上させることを目標としています。TOEIC のリーディングセクションに焦点を当て、さまざまなテキストを読んで、TOEIC のスコアアップも目指します。

【 テキストについて 】

使用テキストは、受講手続・説明会にてご案内いたします。

【 オンラインツールについて 】

講師と E メールでやりとりをすることがあります。

【 選 考 方 法 】

受講希望の理由書 (100 文字程度) により決定

7 中国語発展Ⅱ a

【講 師】	山田 俊
【日 時】	9月26日～・毎週金曜日 2時限目 (10:20～11:50)
【募集人数】	5名まで
【受講料】	5,000 円
【講義内容】	中級 / 一般教養

台湾の作家・三毛のエッセイ (原書、ピンインや注釈なし) を担当を決めて翻訳していく。中国語の生の文を読むので、中級程度の中国語力が必要です。

【 オンラインツールについて 】

講師と E メールでやりとりをすることがあります。

【 選 考 方 法 】

受講希望の理由書 (200 文字程度) により決定

8 中国語発展Ⅱ b

【講 師】	岡村 真寿美
【日 時】	9月26日～・毎週金曜日 2時限目 (10:20～11:50)
【募集人数】	5名程度
【受講料】	5,000 円
【講義内容】	準中級

中国語を1年程度学んだけれども、まだ十分身につけていないという人向け。

検定試験4級～3級程度の内容。

【 テキストについて 】

『続・中国語でおもてなし』(おもてなし中国語教材開発研究チーム [著]、/2,300 円 + 税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【 オンラインツールについて 】

Microsoft Teams を使用する場合があります。
講師と E メールでやりとりをすることがあります。

【 選 考 方 法 】

受講希望の理由書 (100 文字程度) により決定

9 中国語基礎－b 週2回

【講 師】	岡村 真寿美
【日 時】	9月26日～・毎週木・金曜日 (週2回) 1時限目 (8:40～10:10)
【募集人数】	5名程度
【受講料】	10,000 円
【講義内容】	初級

前期「中国語入門 B－b」の続きです。中国語を半年程度学んだことのある人を対象とします。中国語の基本パターンを基礎として、より複雑な文法を学んでいきます。

【 テキストについて 】

『中国語への道【初級編】—近きより遠きへ—改訂新版』(内田慶市 ほか [著]、金星堂 /2,500 円 + 税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【 オンラインツールについて 】

Microsoft Teams を使用する場合があります。
講師と E メールでやりとりをすることがあります。

【 選 考 方 法 】

受講希望の理由書 (100 文字程度) により決定

10 日本語史Ⅱ

【講師】米谷 隆史

【日時】9月29日～・毎週月曜日
2時限目（10：20～11：50）

【募集人数】若干名 【受講料】5,000円

【講義内容】専門

日本語の音韻の歴史を学びます。録音機器による日本語音声の記録は百年程前のものがあるだけです。過去、過去の日本語の音を知らせてくれる文献資料にはどのようなものがあるのかを理解していくことが中心となります。日本語学と日本文学史の基礎、前期開講の日本語史Ⅰの内容を理解していることを受講の前提とします。

【テキストについて】

『国語史を学ぶ人のために』（木田章義〔編〕、世界思想社/2,900円＋税）

あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書（200文字程度）により決定

11 現代日本語の分析

【講師】小川 晋史

【日時】10月1日～・毎週水曜日
4時限目（14：30～16：00）

【募集人数】若干名 【受講料】5,000円

【講義内容】専門

日本語（共通語）を分析する視点や方法について学びます。本学では2年生科目として位置づけられているので、先に1年生の科目である日本語学概論Ⅰを受講されることをお勧めします。日本語学概論を受講していないことを理由に本科目の受講生として受け入れないということはありませんが、お勧めしておきます。

【テキストについて】

『新しい日本語学入門 ことばのしくみを考える 第2版』（庵功雄〔著〕、スリーエーネットワーク/2,000円＋税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書（200文字程度）により決定

12 近代文学史

【講師】五島 慶一

【日時】9月29日～・毎週月曜日
4時限目（14：30～16：00）

【募集人数】若干名 【受講料】5,000円

【講義内容】専門

本講では、明治期を中心にほぼ時系列に沿って近代文学史上の幾つかの項目を追い、創作活動の背景として存在する個人及び社会的動機に関して改めて確認することで、作家や作品への理解を深める一助とします。特段の予備知識は必要ありませんが、内容は専門的なところまで踏み込むことがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

13 地域文献講読Ⅱ

【講師】鈴木 元

【日時】10月1日～・毎週水曜日
5時限目（16：10～17：40）

【募集人数】若干名 【受講料】5,000円

【講義内容】専門

熊本藩藩士の井沢蟠龍には、写本のみで伝わる著述もあるものの、幾つかの版本著作がある。印刷され本屋を通して流通したそれら著作の一つ、『旧説拾遺』という説話集を読む。収録された説話の情報源や、説話配列の意図、歴史的背景など、解説を加えながら読み進める。

【選考方法】

受講希望の理由書（100字程度）により決定

14 英米文学多読入門

【講 師】	吉田 希依
【日 時】	10月2日～・毎週木曜日 5時限目 (16:10～17:40)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000 円
【講義内容】	一般教養

翻訳を用いて英米文学作品を多読する、英米文学の入門として位置付ける授業です。ジャンルを問わず多くの作品に触れることで、小説の読み方を学びます。受講生の人数にもよりますが、学生の発表形式で進める予定です。

【 テキストについて 】

『アメリカン・マスターピース 準古典篇』（柴田元幸、スイッチ・パブリッシング /2,400 円＋税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【 オンラインツールについて 】

講師と E メールでやりとりをすることがあります。

【 選 考 方 法 】

受講希望の理由書（200 文字程度）により決定

15 日本文化論Ⅱ

【講 師】	羽鳥 隆英
【日 時】	9月26日～・毎週金曜日 4時限目 (14:30～16:00)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000 円
【講義内容】	一般教養

熊本藩細川家に由縁の元禄赤穂事件（1701 年～1703 年）に取材した「忠臣蔵」の歴史を概説します。日本語を活用した文学、演劇、演芸、映画などの様々な媒体を議論の対象に設定し、「忠臣蔵」と日本社会、特に近代日本社会の相関性を議論します。

【 オンラインツールについて 】

予習に動画（インターネット環境があればご視聴いただけるサイト）を活用する場合があります。

【 選 考 方 法 】

受講希望の理由書（200 字程度）により決定

16 人間と芸術

【講 師】	永田 郁
【日 時】	9月29日～・毎週月曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人数】	10 名まで
【受講料】	5,000 円
【講義内容】	一般教養

本講義は「人間と芸術」というテーマのもと、人間が社会の中でいかなる芸術もしくは視覚的イメージを創造したか、また人間にとって芸術・視覚的イメージがどのように使われ、理解されてきたかについて、日本を含むアジア世界及び西洋世界の具体例を取り上げ、探っていく。

【 オンラインツールについて 】

講師と E メールでやりとりをすることがあります。

【 選 考 方 法 】

抽選により決定

17 建築環境工学Ⅱ

【講 師】	辻原 万規彦
【日 時】	9月26日～・毎週金曜日 1時限目 (8:40～10:10)
【募集人数】	数名程度
【受講料】	5,000 円
【講義内容】	専門

建築環境工学のうち、空気環境、光環境、音環境に関する基礎事項を平易に解説する予定です。知識だけにとどまらず、ものの見方や考え方も学べることを目指します。理解を深められるように、できるだけ毎回演習問題を出題する予定ですので、関数電卓が必要です。高校卒業程度の数学、物理の知識があることを前提とします。

【 テキストについて 】

『図説 やさしい建築環境（第4版第2刷 2024 年 3 月発行）』（今村仁美・田中美都 [著]、学芸出版社 /2,800 円＋税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【 オンラインツールについて 】

Microsoft Teams を使用する場合があります。
講師と E メールでやりとりをすることがあります。

【 選 考 方 法 】

受講希望の理由書（200 字程度）により決定

18 家庭機械・電気

【講師】 齊藤 弘順

【日時】 9月29日～・毎週月曜日
4時限目（14：30～16：00）

【募集人数】 10名まで 【受講料】 5,000円

【講義内容】 一般教養

石油資源枯渇や地球温暖化など、もはや市民レベルで意識しなければならない課題です。普段の生活でも多くの家電製品を使用していますが、省エネや環境保全の観点から、賢く家電製品を使用するためには、その動作原理をしっておくと便利です。本講義では、中学校の理科で学習する内容をベースに各種家電製品の動作原理を解説します。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

19 地域景観計画学

【講師】 柴田 祐

【日時】 10月2日～・毎週木曜日
2時限目（10：20～11：50）

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

景観の概念、景観形成の視点、まち並みと農村景観の構成要素、景観施策、景観まちづくりなどについて、全国各地の具体的な事例を通して学び、地域景観は、景観を構成する様々な要素と、そこでの人々の生活との関わりの中から成立していることを理解する。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

20 環境設備学

【講師】 栗原 広佑

【日時】 10月2日～・毎週木曜日
3時限目（12：50～14：20）

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

人間が快適かつ健康に生活するために欠かせない熱・空気環境と水環境をコントロールするための建築設備の概要について解説します。また、建築設備の運用に関する省エネルギー化や自然エネルギーの活用といった環境共生手法に関しても解説を行います。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

21 比較住文化論

【講師】 高橋 浩伸

【日時】 10月2日～・毎週木曜日
2時限目（10：20～11：50）

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

世界に目を向けると、単に住空間といっても実に多様な様相を見せる。この多様なかたちを規定する要因として、気候や地形、生業形態、建築材料、家族や社会組織、それに信仰や思想などが影響している。これら世界中の特徴的住空間を読み解き、更に日本の住文化との比較検証を行うことで、今後（未来）の住空間の在り方を考える。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

22 建築構造の基礎

【講師】	李 麗
【日時】	10月2日～・毎週木曜日 2時限目（10：20～11：50）
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000 円
【講義内容】	専門

建築構造に関する基本的な事項を学ぶ。構造の種類・形式、荷重の種類、力の合力・分力、反力、応力を理解し、片持ち梁・単純梁の反力、応力の求め方および応力図の描き方、断面二次モーメント・断面係数、応力度の求め方を学習する。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

23 憲法Ⅱ

【講師】	佐藤 雄一郎
【日時】	9月26日～・毎週金曜日 4時限目（14：30～16：00）
【募集人数】	10名程度
【受講料】	5,000 円
【講義内容】	専門

日本国憲法の統治機構について講義します。具体的には、国会、内閣、財政、地方自治、天皇制、平和主義、裁判所について、現実の政治状況と照らし合わせつつ、詳しく講義します。

【選考方法】

受講希望の理由書（200字程度）により決定

24 現代社会と企業

【講師】	池内 秀己
【日時】	10月1日～・毎週水曜日 3時限目（12：50～14：20）
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000 円
【講義内容】	一般教養

現代社会を理解するために絶対不可欠な社会的制度、それが企業である。「20世紀は企業の時代」「20世紀文明は企業文明」といわれる。19世紀から20世紀、21世紀に至る「企業変容」は、現代社会や私たちの暮らしのありようを大きく変え、空前の経済的繁栄と豊かな生活を実現するとともに、地球規模の環境破壊をももたらした。他方、ロシアのウクライナ侵攻や中東情勢、トランプ相互関税により、企業戦略の転換が余儀なくされる現実もある。

◆経済・ビジネス系学生やビジネスマンに限らず、現代人にとって必要な「教養としての経営学」として「現代社会と企業」を講じる。

【テキストについて】

『企業論（第4版）』（三戸浩・池内秀己・勝部伸夫、有斐閣 / 2,100 円 + 税）

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（文字数は問わず）により決定

25 生命倫理と法

【講師】	江崎 一朗
【日時】	10月1日～・毎週水曜日 3時限目（12：50～14：20）
【募集人数】	10名程度
【受講料】	5,000 円
【講義内容】	一般教養

テーマ「いのちの意味を考える」

生命倫理における多様な問題について考察する。『生命倫理学を学ぶ人のために』を解説することを通じて、私たちが近代的市民として身に着けるべき生命倫理と法に対する認識を深める。

※受講生の理解度や要望、講義の進捗状況等により適宜、変更あり。

【テキストについて】

『生命倫理学を学ぶ人のために』（加藤尚武・加茂直樹 編、世界思想社 / 2,300 円 + 税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参すること。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teams を使用する場合があります。
講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（文字数は問わず）により決定

26 地域づくりと協働

【講師】 澤田 道夫

【日時】 10月1日～・毎週水曜日
4時限目 (14:30～16:00)

【募集人数】 10名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 中級／専門

協働とは国や県、市町村などが行う様々な行政活動に人びとが参加し、行政と力を合わせていくことでより良い地域を作り上げていく取組です。本講義では地方自治に関する基本的な知識を踏まえ、地域づくりにおける協働の持つ意義と協働を進めるための条件について理解を深めることを目標とします。

【テキストについて】

『真・自治行政構想の奇跡』（荒木昭次郎・澤田道夫、敬文堂 /2,600円＋税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

抽選により決定

27 アジア地域論

【講師】 高埜 健

【日時】 10月1日～・毎週水曜日
2時限目 (10:20～11:50)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

成長著しい地域として注目されるアジアを経済面以外からも包括的・多角的に理解しようと試みる。また、「アジアの一員」である日本と日本人について改めて考える。具体的には、「アジア」の過去と現在について学習し、アジアの文化的共通性を見出し、将来におけるアジアの新たな可能性を探る。

【テキストについて】

授業開始後に担当講師よりお知らせいたします。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（300文字程度）により決定

28 原価計算論

【講師】 望月 信幸

【日時】 9月26日～・毎週金曜日
2時限目 (10:20～11:50)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

本講義では、原価計算の意義および目的を理解し、原価計算の理論的アプローチおよび計算手法について講義します。最終的に、原価計算の理論を学ぶことに加え、全経2級工業簿記、さらには日商2級工業簿記程度の知識習得を目標としています。なお、講義の中で計算を行うことが多いため、毎回必ず計算用具を準備してください。

【テキストについて】

『テキスト原価会計 第3版』（高橋賢、中央経済社 /2,300円＋税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書（200文字程度）により決定

29 アルゴリズム論

【講師】 金井 貴

【日時】 9月30日～・毎週火曜日
3時限目 (12:50～14:20)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

アルゴリズムとは、問題を解決するための手順のことである。本講義では、情報処理を効率的に行うために必要とされる、様々なデータ構造とアルゴリズムについて学ぶ。

【テキストについて】

『Pythonで学ぶアルゴリズムとデータ構造』（藤原暁宏、森北出版 /2,600円＋税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

抽選により決定

〈 申込みにあたっての注意事項 〉

- 1 本申込書は1枚1講座分でご記入ください。複数講座お申込みされる場合は、講座毎に申込書をご記入ください。この場合、2講座目以降の申込書は「氏名」、「申込枚数」、「合計講座数」、「受講希望講座」欄の記入のみで構いません。
- 2 「理由書」により受講者選定を行う講座は、指定の文字数を確認のうえ、希望理由を記入してください。なお、枠内に入りきらない場合は、別紙（様式任意）に記入し、申込書に添付して提出ください。
- 3 開講する曜日と時限が同じである講座を、重複して申し込むことはできません。
- 4 募集締切後の講座のお申し込み、変更は一切お受けできません。
- 5 決定通知後の取り消しは、お受けできません。
- 6 受講料は、受講手続・説明会にご参加いただき、現金でお支払いいただきます。また、お支払いいただいた受講料は返金いたしませんので、あらかじめご了承ください。（本学都合の場合は除く）
- 7 学生の受講が少ないなどの理由により開講中止となる場合があります。その場合は、お支払いいただいた受講料は返金いたします。
- 8 お申込みの際にご提供いただいた個人情報については、個人情報の保護に関する法律に基づいて適正に管理を行います。

施設紹介

講座で学んだ内容をさらに深めるために、キャンパス内の施設がサポートします。



① 図書館

専門書を中心に約 38 万冊の図書・雑誌を収蔵しており、自由に利用することができます。また、1～3 階の開架書庫・閲覧スペースには 360 の閲覧席を設けており、ゆとりをもって快適に学習できる環境を提供しています。

そのほか、1 階に国内外の主要紙を配置した新聞コーナー、学術雑誌を閲覧できる雑誌コーナーなども設けています。

館内の図書は、各階に備えている専門の端末機で検索することができます。

開館時間 平 日 8:40～21:40 (夏季休業日 8:40～20:40)

土曜日 8:40～19:00 (夏季休業日 8:40～18:00)

休館日 日曜・祝日・開学記念日・年末年始等

(その他臨時休館日等は本学図書館ホームページでお知らせします)

② 熊本県立大学アーカイブ (図書館 2 階)

学内外の方々に幅広く熊本県立大学への理解・関心を深めていただく趣旨で、女子大当時の学術資料、写真、看板等を常時展示し、図書館を訪れる方々にご紹介しています。



学生食堂 (大学会館内)

カフェテリアスタイルで、ガラス張りの吹き抜けになっている明るい学食です。

人気メニューは、日替わりのランチやカレーです。
(11:00～13:45 ごろ)

書店・売店 (大学会館 2 階)

授業で使用するテキストや書籍、文具、事務用品の販売はもちろん、有料のコピー機なども設置しています。





地域・研究連携センターについて

熊本県立大学では、平成 18 年度の独立行政法人化にあわせ、地域との連携をより強化し、地域貢献の取り組みを充実していくことを目的として、地域・研究連携センターを設置しています。

地域・研究連携センターは、本学の教育研究資源を地域に繋ぐコーディネート機能や、授業公開講座・各種公開講座の開催や、職業人の学び直しとして、CPD プログラム（Continuing Professional Development 継続的専門職能開発）など大学ならではの学びの場を地域に提供する役割を担うとともに、大学の研究力の向上に務め、「地域とともに生きる」熊本県立大学の地域貢献を推進します。

学内配置図

グローバル棟 1 階
地域・研究連携センター
 Tel 096-321-6612



県大と地域をつなぐwebサイト

／新しい情報を更新中／

授業以外の大学の活動を紹介しています。

あなたの、地域の「さがしもの」が見つかるかもしれません。

発見したい

学び足したい

事業化したい

学び直したい

立案したい

作りたい

熊本の“お役に立ちたい”研究室です。

地域ラブラトリー
Kumamoto

熊本県立大学
Prefectural University of Kumamoto

<https://puk-loveratory.com>

地域ラブラトリー

~ MEMO ~

Handwriting practice area with 25 horizontal dotted lines.

お問い合わせ先

熊本県立大学 地域・研究連携センター（グローバル棟1階）
〒862-8502 熊本県熊本市東区月出3丁目1番100号
TEL.096(321)6612
E-Mail renkei-tel@pu-kumamoto.ac.jp

